

学長式辞

新入生の皆さん、本日はご入学、誠におめでとうございます。

本日ここに、希望に満ちた皆さんを本学の学生として迎えることができますことを、教職員を代表して心より歓迎いたします。また、これまで皆さんを支え、励まし続けてこられたご家族の皆様にも、心からお祝いと敬意を申し上げます。また、本日は年度はじめの慌ただしい時期にもかかわらずご列席を賜りました広島県知事横田美香様をはじめ多くのご来賓の皆様方に厚く御礼申し上げます。

さて、県立広島大学は、広島市に地域創生学部、庄原市に生物資源科学部、三原市に保健福祉学部を擁し、それぞれの地域に根ざしながら、広島県の未来、さらには日本と世界の未来を担う人材を育成してきました。本日ここに集った皆さんは、それぞれ異なる学問分野を志しながらも、「学びによって社会に貢献したい」という志を共有する仲間です。大学とは、単に知識を身につける場所ではありません。自ら問いを立て、世界を深く理解し、そして社会に役立つ知恵を生み出していく場所です。古代ギリシャの哲学者ソクラテスは、「**無知の知**」という言葉を残しました。自分が知らないということを知るところから、本当の学びは始まるという意味です。皆さんがこれから大学で出会う多くの問いは、必ずしもすぐに答えが見つかるものではありません。しかし、問い続ける姿勢こそが、知の扉を開く鍵となります。

英国の思想家フランシス・ベーコンは、「**知識は力なり**」と述べました。しかしその言葉の真意は、単に知識を持つことではなく、それを社会のために活かすことにあります。皆さんがこれから学ぶ知識や技術は、自分自身のためだけでなく、人々の暮らしや地域社会をより良くするために用いられるとき、真の価値を持つのです。

地域創生学部で学ぶ皆さんは、人口減少や地域経済、文化の継承といった課題に向き合い、地域社会の未来を切り拓く知恵を磨いていくことでしょう。そして、生物資源科学部の皆さんは、自然の恵みを理解し、持続可能な社会を実現するための科学を探究していくこととなります。保健福祉学部の皆さんは、人の生命と健康を守る専門家として、人間の尊厳に深く向き合う学びを重ねていくことでしょう。

これら三つの学びは、一見すると異なる分野のように見えるかもしれませんが、その根底には共通する理念があります。それは「人と社会、そして自然の調和を実現する」という志です。これからの社会では、一つの分野の知識だけでは解決できない問題が数多くあります。だからこそ、異なる専門を学ぶ仲間との対話が重要になります。今日この会場に集まった皆さんは、まさにそのような学びの共同体の一員となるのです。

中国の古典『論語』には、次のような言葉があります。

「**学びて時にこれを習う、またよろこばしからずや。ともあり遠方より来たる、また楽しからずや。**」
学び続けることの喜び、そして志を同じくする仲間と出会う喜び。この二つこそが、大学生活の大きな財産です。大学で出会う友人、先生、そして地域の人々との交流は、皆さんの人生を豊かにし、長く続く絆となるでしょう。しかし、大学での学びは決して平坦な道ばかりではありません。時には困難に直面し、自分の力の限界を感じることもあるでしょう。そのようなとき、思い出してほしい言葉がありま

す。ドイツの文豪ゲーテは、「**努力する者は、常に救われる**」と述べました。努力とは、単に苦勞することではありません。自分の可能性を信じ、あきらめずに前へ進むことです。大学の四年間は、まさにその努力を重ね、自分自身を成長させる時間なのです。

この広島という地は、歴史的にも世界に大きなメッセージを発信してきた場所です。広島は、平和の尊さを世界に訴え続けてきた都市であり、人類が未来に向けて何を大切にすべきかを問い続けてきました。皆さんが学ぶこの大学もまた、その精神を受け継ぎながら、地域と世界の未来を見据えた教育と研究を進めています。

科学技術の進歩は目覚ましく、社会はかつてない速度で変化しています。人工知能、データサイエンス、バイオテクノロジー、持続可能な社会の構築など、皆さんが直面する未来は大きな可能性と同時に多くの課題を含んでいます。そのような時代において重要なのは、単なる知識の量ではなく、「考える力」と「学び続ける力」です。皆さんがこれから歩む時代は、変化の激しい時代です。科学技術の進歩、社会構造の変化、地球環境問題など、世界は急速に姿を変えています。しかしどのような時代であっても、社会を支えるのは「人」です。深い知識と広い視野を持ち、他者を思いやる心を持った人材こそが、未来を切り拓いていきます。本学は、そのような人材を育てることを使命としています。

今日から始まる大学生活は、皆さんにとって新しい挑戦の連続となるでしょう。講義や実験、実習、地域での活動、そして多くの出会い。その一つ一つが、皆さんを大きく成長させてくれるはずです。どうか失敗を恐れず、未知の世界に積極的に挑戦してください。

最後に、皆さんにもう一つ言葉を贈りたいと思います。

「有志竟成（ゆうしきょうせい）」ということばです。これは中国のことわざで、「志ある者は、事竟に成る（こころざしあるものはことつになる）」と言い換えられ、「強い志、思いを持ち頑張れば、目的は必ず達成できる」という意味です。このことばは、2018年、ノーベル医学生理学賞の受賞が決定した時の、本庶 佑（ほんじょたすく）さんのインタビューで使われたことばです。本庶さんは、簡単にはなかなか結果が出ない長い研究生活の中で、心が折れそうになったりしたこともたくさんあったが、決してあきらめずに、「有志竟成」（強い思いをもって頑張れば目的は必ず成し遂げられる。このことばをいつも胸に秘めて、長い研究生活を頑張りぬいたと語っておられました。志を持つ人は、最後には必ず成し遂げることができる、ということです。今日この日、皆さんが胸に抱いている志を、どうか大切にしてください。その志こそが、これからの学びと人生の道しるべとなります。

県立広島大学は、皆さんの挑戦を全力で支えます。教職員一同、皆さんが大きく成長し、社会に羽ばたいていくことを心から願っています。新入生の皆さんの前途が希望に満ちたものであることを祈念し、入学式の式辞といたします。

本日は誠にありがとうございます。

令和8年4月3日
県立広島大学
学長 森永 力